

福岡みらい病院で 脳卒中リハビリテーションを受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧くださいことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の排泄動作の自立度と注意機能および前頭葉機能の関連性について
当院の研究責任者（所属） 本研究の目的	陣内 重郎（リハビリテーション科） 当院回復期リハビリテーション病棟に入院する脳卒中患者の前頭葉機能と注意機能が排泄動作（ズボンの上げ下ろし、清拭、トイレへの移乗）の自立度に及ぼす影響について明らかにすることを目的とします。
調査データ該当期間	西暦 2019年 4月 1日～ 倫理審査承認日
研究方法	●調査の対象となる患者様 ・40～85歳未満の脳卒中を呈した患者様 ・回復期リハビリテーション病棟に入院された患者様 ・脳卒中初発であり重篤な意識障害や視覚障害を伴わず、尿意、便意のある患者様 <電子カルテに記載のある診療情報> ① 臨床所見：年齢、性別、疾患名、損傷半球、損傷部位、利き手、発症からの日数） ② ADL評価：FIM（トイレ動作、トイレ移乗）、便器への移乗、ズボンを下す、拭く、ズボンを上げるといった排泄動作の工程ごとの可否 ③ 運動麻痺：FMAの運動機能（上肢、下肢） ④ 高次脳機能評価：MMSE、注意機能評価として、TMT、前頭前野機能評価として、FAB
個人情報の取り扱い	収集したデータは、患者様を直接特定できる個人情報は削除し誰のデータかわからなくした（匿名化という）上で統計的処理を行います。研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 リハビリテーション科 電話：092-662-3102（リハ科直通） 研究責任者：陣内重郎 研究分担者：斉藤智愛